

戸田市 施策評価シート

| | | | | | |
|-----|-------------|------|-------|------|-------|
| 作成日 | 令和 3年 6月16日 | 作成者名 | 山老 英巳 | 評価者名 | 渡邊 昌彦 |
|-----|-------------|------|-------|------|-------|

1. 施策の位置づけ <PLAN>

| | | | |
|-------|--|--------|-------------|
| 基本目標 | 05 快適で過ごしやすいまち | 中心となる課 | 上下水道部・水道施設課 |
| 分野 | 07 上下水道 | 関係課 | 水安全部・総務課 |
| 施策 | 62 上水道の充実 | | |
| 施策の目的 | 災害に強い水道施設を整備することによって、市民がいつでも安心して水道水が飲めるようにします。 | | |

2. 施策の主な取り組み <DO>

| | |
|----------|-----------|
| 取り組み① | 配水管更新事業 |
| 取り組み② | 配水管布設事業 |
| 取り組み③ | 浄水場施設改良事業 |
| 取り組み④ | |
| 取り組み⑤ | |
| その他の取り組み | |
| その他の取り組み | |

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

| 指標名 | 指標の説明 (算定式) | 単位 | 目標値 | 達成値 | | | | | |
|------------------|---|----|------|------|------|------|------|------|------|
| | | | | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
| 管路の耐震化率 | 管路総延長のうち、耐震管延長が占める割合 | % | 52.6 | 50.4 | 50.7 | 50.8 | 51.2 | 51.6 | 52.1 |
| 有効率 | 有効に使用された水量（メーター水量、事業用水量など）の割合 | % | 97.8 | 95.6 | 94.8 | 96.3 | 96 | 95.3 | 94.1 |
| 直結給水率 | 配水管から直接給水している建物件数の割合 | % | 62 | 58.3 | 65.6 | 66.1 | 66.8 | 67.9 | 69.9 |
| その他の施策の取組事項に係る成果 | 東部浄水場1号ポンプのVWF盤等更新オーバーホール工事など設備の計画的更新を行った。また、老朽配水管の更新を行い1,281.7mの耐震化を図った。さらに、34,088戸の個別漏水調査を行い有効率の向上を図った。 | | | | | | | | |

4. 施策の展開 <ACTION>

| | | | |
|----|---|-----|--|
| 課題 | <p>上水道については、高度経済成長時代に整備された水道施設が耐用年数を迎えており、老朽化・更新対策を継続的に進める必要がある。</p> <p>また、浄水場から配水される水道水を有効に使うためには、漏水量を減少させる必要がある。</p> <p>さらに、貯水槽水道における衛生上の問題解消や給水サービスの向上を図るためには、直結給水方式の普及・拡大を進める必要がある。</p> | 対応策 | <p>戸田市水道ビジョン2014（改訂版）に基づき、市役所や病院、福祉施設、避難所などの重要施設に連絡する管路の耐震化を進めるとともに、老朽配水管の更新も計画的に行う。</p> <p>また、水道水の有効率を向上させるために漏水調査を継続的に実施し、漏水の早期発見・修理を行う。</p> <p>さらに、直結給水方式については、給水管の新設時や既設給水装置の改造等で来庁された方々に対して、普及啓発を積極的に行い、直結給水率の向上を目指す。</p> |
|----|---|-----|--|

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

| | | |
|--------------------------------|---------------|--|
| 進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味) | 説明 (総評) | 「管路の耐震化率」「有効率」については、目標値には近づいているものの達成することが出来なかったため、引続き管路の更新対策や漏水調査を実施し、老朽配水管の耐震化・漏水修理を進める。「直結給水率」については、窓口やHPなどで直結給水方式の普及啓発活動を実施してきたことにより、目標を達成することが出来た。 |
| B | | |
| 今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減) | 説明 (人員/予算) | 安定した水の供給を実践するために、水道施設の更新や耐震化を増進させ、これらに対応出来る人員及び予算を確保していく。また、水道水の有効率増加や給水管の直結給水方式を普及させるために、現状の人員及び予算を確保し、引続き事業に取り組んでいく。 |
| ↑ | | |

(評価者コメント)

| |
|---|
| 水道ビジョン2014（改訂版）に基づき、水道施設の更新や耐震化を継続的に実施し、災害に強い水道施設の構築に取り組んでいる。今後も、水道施設の更新や耐震化を効率的に実施していくことで、さらなる基盤強化を図り、市民が安心して水道を利用できるよう、安定した水の供給を実践していく。 |
|---|

